

○ 交差点急速立体化技術「すいすいMOP工法」開発チーム

[戸田建設㈱、三菱重工鉄構エンジニアリング㈱、(独)土木研究所]

代表者 あさの 浅野 ひとし 均 (戸田建設㈱ アーバンルネッサンス部 部長)

メンバー 22名(戸田建設㈱ 9名、三菱重工鉄構エンジニアリング㈱ 10名、
(独)土木研究所 3名)

本件は交差点の立体化工事において、大幅な工期短縮とともに、工事に伴う交通渋滞も緩和する工法の開発である。

本工法では、鋼製の橋桁を折り畳んで架設する「モジュール桁」を世界で初めて採用し、移動多軸台車による一括架設を行った。これにより、東京都たつみ橋交差点立体化工事で、標準現地施工日数の要求169日に対して109日(60日短縮)を達成した。

従来工法であれば、交差点の右折車線は工事期間中すべて閉鎖されるが、本工法では車線上部における施工空間を狭くできるので右折車線を確保したままの工事が可能で、右折車線の閉鎖時間は鋼桁架設時の短時間のみで済む。

モジュール桁、組立ヤードの省スペース化による現有道路内での施工、移動多軸台車による一括架設等、本工法はシステムとして完成されており、エンジニアリング技術として高く評価する。

